

「気象ビジネス推進コンソーシアム」の会員公募について

- 国土交通省生産性革命プロジェクト「気象ビジネス市場の創出」の取組を推進する「気象ビジネス推進コンソーシアム」の会員を2月1日から公募します！

国土交通省生産性革命本部（第4回）において「生産性革命プロジェクト」として選定された「気象ビジネス市場の創出」の取組として、2月1日（水）に「気象ビジネス推進コンソーシアム」の会員公募を開始致します。

このコンソーシアムは、産学官が一体となって、多様な産業界における気象データの利活用を一層推進するとともに、IoT・AI技術を駆使し、気象データを高度利用した我が国における産業活動を創出・活性化することを目指すものです。

コンソーシアム設立にあたり、IoT、AIに係る有識者、気象事業、情報通信業、農業、小売業、金融業、運輸業、製造業、建設業、サービス業等に係る事業者など、計54者が発起人となって、今般公募を行うこととしたものです。

なお、3月7日（火）にはコンソーシアムの設立総会及び「第1回気象ビジネスフォーラム」を開催いたします。詳細が決定次第、報道発表を予定しております。

また、コンソーシアムについて説明会を2月13日（月）、15日（水）に開催いたしますので、ご関心のある方は下記のページよりお申し込みください。

※ 「気象ビジネス推進コンソーシアム」のページ

<http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/index.html>

※ 「気象ビジネス推進コンソーシアム」説明会のページ

<http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/seminar.html>

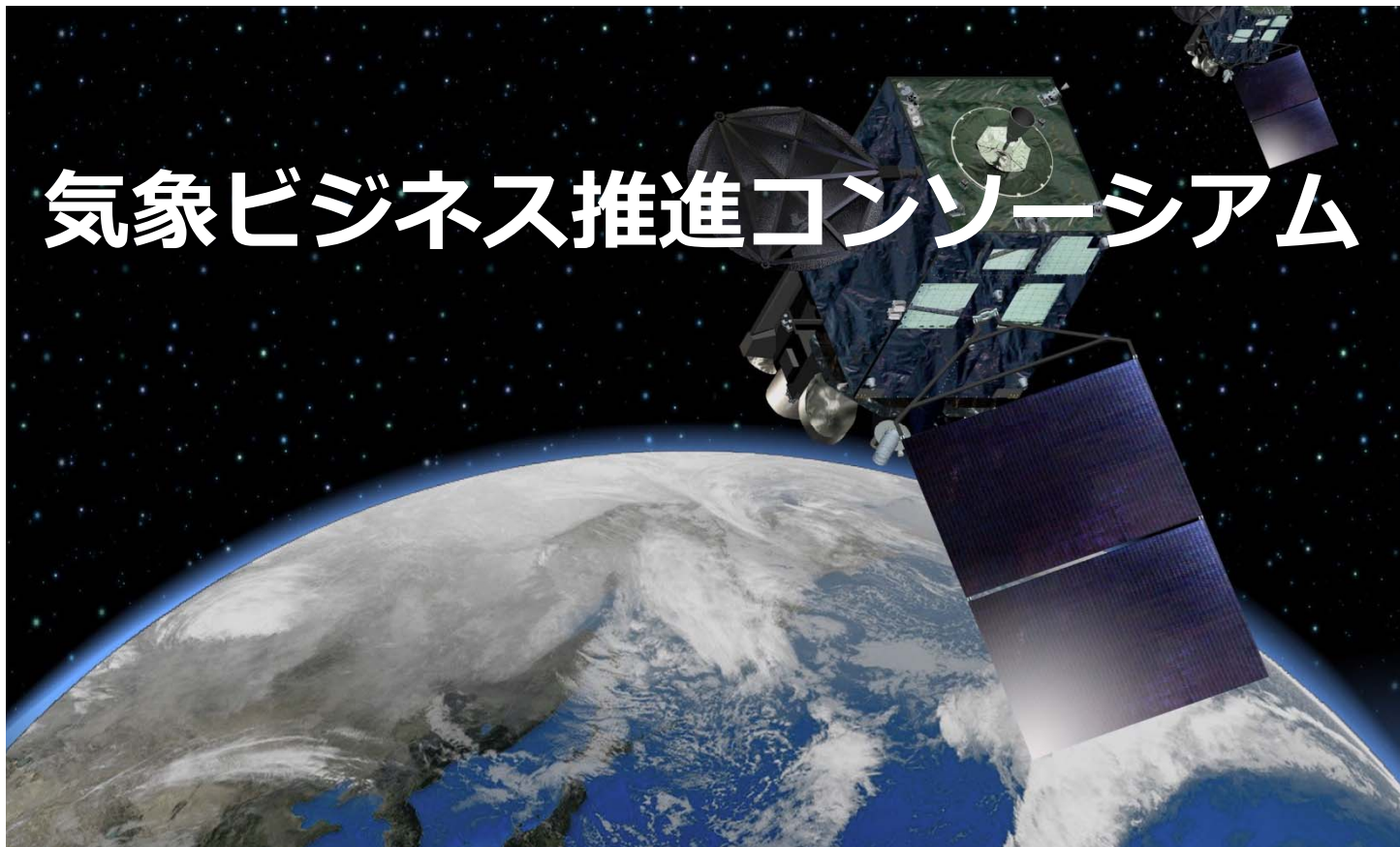
総務部企画課

電話：03-3212-8341（内線2234）

総務部情報利用推進課

電話：03-3212-8341（内線2127）

気象ビジネス推進コンソーシアム



- IoTやAI等の技術の進展により、幅広い産業において気象データを利用した生産性の飛躍的向上が見込まれる
- 産業界と気象サービスのマッチングを行う「気象ビジネス推進コンソーシアム」を立ち上げ、IoTやAI等の先端技術を活用した新たな気象ビジネスの創出・活性化を強力に推進

現状・課題

気象データは、先端技術や他データと組合わせた活用による生産性向上の潜在力はあるが、使われてない「ダークデータ」

課題1: 産業界が求める気象サービス※1の提供

※1 気象データを活用したビジネス支援サービス

課題2: 新たな気象ビジネス※2を実現する対話・連携

※2 IoT・AI技術を駆使し、気象データを高度利用した産業活動

【気象ビジネスの具体例（米国）】

- ・リアルタイム気象情報と土壌モニタリング等を組み合わせ、農業クラウドソリューションを提供



図: The Climate Corporation社ホームページより

具体的施策

気象サービス強化

気象ビジネス連携強化

①ユーザーコンシャスな気象情報の提供

- ・新たな気象データの提供、情報利用環境の高度化
- ・過去データのアーカイブ整備



②気象サービスの体質強化

- ・気象サービスに必要なノウハウを全国的に展開

③気象サービスと産業界のマッチング

気象ビジネス推進コンソーシアム

- ・先進的気象ビジネスモデルの創出
- ・気象ビジネス推進の環境整備
- ・気象ビジネスフォーラムの開催

| 気象庁 | 気象サービス | 産業界 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・気象ビジネスの基盤となる支援を推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・気象情報の仲介・加工 ・気象情報や先端技術を用いたシステム高度化 | <ul style="list-style-type: none"> ・先端技術を活用した、気象リスクの管理や先手を打った収益追及 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 農業 小売 金融 運輸 建設 製造 エネルギー サービス |

→ 2020年までにGDP押し効果 約2,000億円を実現

ビジネスに気象データをお使いですか？



気象は、消費者の行動、農産物やエネルギーの生産、サービス、サプライチェーン等、様々な分野に大きな影響を与えます。しかし、気象データの分析を経営に活かしている企業は極わずかです。IoT化が進む社会・ビジネス界で、「気象ビジネス推進コンソーシアム」は、**気象データの活用を磨く場、展望を語る場**です。

発足！

気象ビジネス推進コンソーシアム

産学官連携による気象ビジネスの推進を目指して、**気象、IoT、AI**等の専門家や幅の広い産業分野の企業、気象事業者等を構成員として発足します。

学界・専門家



産業界



気象事業者等



こんな悩みも

「わが社だけでは無理かな・・・。」

活動は！

パートナー発見・マッチングの場

- ▶ フォーラムへの参加、パートナーと連携
- ▶ 会員企業のシーズ・ニーズの発見した取組

「気象ビッグデータを用いた経営がしたい。」

活動は！

知見・技術の習得の場

- ▶ 調査やプロジェクトへの参加
- ▶ IoT技術・気象関係セミナーへの参加

「どんな気象データがある？」 「IoTの活用方法が分からない。」

活動は！

気象ビジネス展望の議論の場

- ▶ 社会への提案
- ▶ 制度や課題に関する対話への参加

気象ビジネス推進コンソーシアム発起人

<有識者>

(50音順)
 木本 昌秀 東京大学大気海洋研究所教授
 越塚 登 東京大学大学院情報学環教授
 田原 春美 ドリームIT21代表
 先端IT活用推進コンソーシアム(AITC)副会長
 平田 祥一郎 (株)三井物産戦略研究所技術イノベーション情報部知的財産室シニアマネージャー
 村上文洋 (株)三菱総合研究所社会ICT事業本部主席研究員

<企業・団体>

(50音順)
 アサヒ飲料(株)
 いであ(株)
 (株)ウェザーニューズ

英弘精機(株)
 (株)応用気象エンジニアリング
 大塚製薬(株)
 オフィス気象キャスター(株)
 (株)気象工学研究所
 国立大学法人 岐阜大学
 光進電気工業(株)
 国際気象海洋(株)
 (一社)全国建設業協会
 (一社)全国清涼飲料工業会
 全国農業協同組合連合会
 営農販売企画部
 (一社)全日本航空事業連合会
 損害保険ジャパン日本興亜(株)
 (株)タニタヘルスリンク
 (株)中電シーティーアイ

定期航空協会
 (株)東芝
 (一社)日本気象予報士会
 (一社)日本経済団体連合会
 (株)日本電気(株)
 日本アイ・ビー・エム(株)
 (一社)日本アパレル・ファッション産業協会
 日本気象(株)
 (一財)日本気象協会
 (一社)日本気象測器工業会
 (一社)日本建設業連合会
 (一社)日本船主協会
 (公社)日本農業法人協会
 (一社)日本物流団体連合会

日本マイクロソフト(株)
 (一社)日本民営鉄道協会
 (一社)日本旅客船協会
 (一社)日本旅行業協会
 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構
 (株)パスコ
 (株)ハレックス
 (株)日立製作所
 富士通(株)
 (株)フランクリン・ジャパン
 三井住友海上火災保険(株)
 (株)ミライト・テクノロジーズ
 明星電気(株)
 ヤフー(株)
 (株)ライブビジネスウェザー
 (株)ローソン

ご興味のある方は

気象ビジネス推進コンソーシアム事務局

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁総務部企画課内
 TEL: 03-3212-8341 (内線2234,2228) E-Mail: wpc@met.kishou.go.jp
 気象庁ホームページ内「気象ビジネス推進コンソーシアム」
<http://www.data.jma.go.jp/developer/consortium/index.html>